



文庫判
文豪たちが書いた 恋の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0765-0
 税込850円

文豪たちがつづる「恋」の物語
甘くせつない珠玉の12編

本作は、「恋」をテーマにした多様な作品で構成されるアンソロジーです。心が弾むような恋のはじまりや、胸を引き裂かれるような恋の終わり、いつまでも記憶に残る叶わなかった恋……。一口に「恋」といっても、甘酸っぱかったり、せつなかったり、心が躍ったりと、さまざまな後味を感じられることでしょう。駅のプラットホームでよく見かけるお嬢さんに弾みで会釈をしてしま...



文庫判
金子みすゞ名詩集2
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0761-2
 税込850円

「お花だったら」「玩具のない子が」「キネマの夢」...
今なお私たちの胸を打つ、美しい詩の数々

今なお多くの人々を魅了してやまない、金子みすゞの詩。自然を慈しみ、また童心を蘇らせてくれる彼女の詩は、現代を生きる私たちの胸にも、やさしく響きます。深い愛情に満ちた美しい詩の数々に、耳を傾けてみてはいかがでしょうか。...



四六判
小泉八雲 日本の心
 和田久實 訳
 ISBN4-8013-0751-3
 税込1760円

小泉八雲がこよなく愛した120年前の日本
【新訳】小泉八雲 作品集

【新訳】これまで一度も訳されたことのない作品も収録明治37年に小泉八雲は亡くなりました。今年は没後120年に当たります。八雲が亡くなった年は、日露戦争が始まった年でもあります。それ以降の日本は、八雲が愛した多くのものを消し去って行きました。八雲が愛した日本の心とは何だったのか？無くしてしまった大事なものは何なのか？この本を読めば、それが分か...



文庫判
文豪たちが書いた 殺しの名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0720-9
 税込825円

収録作すべてで殺人が起こる
文豪が描く究極の心理

本書は、収録作すべてにおいて殺人が起こる、「殺し」のアンソロジーです。作品の特色は、千差万別。殺人者の残酷な心理を描いた作品、殺人による自責の念に迫る作品、ゾッとするような怪奇な死を扱った作品、殺しの後味の悪さを描いた作品など、各作品には、作家たちの個性が随所に表れています。社会通念上許されないからこそ、「殺し」は文豪たちにとって、格好の題材だ...



四六判
僕の流儀 What's Next?
 加藤雅也 著
 ISBN4-8013-0687-5
 税込1760円

俳優・加藤雅也、初のエッセイ集!
芸能生活で得た学びと気づきを綴る

北野武監督の『BROTHER』、三池崇史監督の『荒ぶる魂たち』をはじめ、数多くの映画やドラマ、舞台で鮮烈な演技を披露してきた俳優・加藤雅也。俳優歴35周年、DJをつとめるFMヨコハマの「加藤雅也のBANG BANG BANG!」の10周年、そして60歳という節目の年齢を迎えたこの年に初の著書を発表することになりました。国立大の学生だった青年がモデルの世界に足を踏み入れた意外...



四六判
大作家でも口はすべる
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0701-8
 税込1430円

言葉のプロがうっかり漏らしたぶっ飛び発言のアンソロジー
恩師を皮肉る太宰治、作品への勝手な声に不満な夏目漱石...

本書は、作家たちの本音や失言、暴言を集めたアンソロジーです。名作を生み出し、歴史に名を残した作家といえども、言葉選びを誤ることもしばしば。むしろ、必要以上に周囲を巻き込み、世間を騒がす問題に発展することもありました。師匠である佐藤春夫や井伏鱒二を作品内で皮肉って、大叱責を受けた太宰治。こき下ろした作家の弟子から決闘を申し込まれた、坂口安吾。雑誌...



文庫判
文豪たちが書いた 食の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0682-0
 税込825円

味わい深い珠玉の作品集
食への喜び、こだわり、思い出、トラウマ...

本書は、日本を代表する作家たちが描いた、食にまつわる作品集です。収録したのは、28作の短編・随筆。作者の個性が感じられる、味わい深い作品を集めました。おにぎりと思いが交錯する吉川英治「母の掌の味」行方不明になった夫の奇怪な行動を妻が語る岡本綺堂「鰻に呪われた男」お菓子好きの少年がトラウマを抱くようになる夢野久作「お菓子の大舞踏会」料理への思いが...



文庫判
文豪たちが書いた 喧嘩の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0672-1
 税込792円

感情の衝突を描いた珠玉の16作品
登場人物ほぼ全員が喧嘩に巻き込まれる

喧嘩はひとたび始めると、なかなか収まりが付きません。争うつもりはなかったとしても、売り言葉に買い言葉、ついカッとなって言い合いになってしまうもの。熱が冷めても仲直りのきっかけがみつからず、気まずい思いをすることも、珍しくはありません。このやっかいな問題に、文学者たちは向き合ってきました。喧嘩から生まれる心の機微を描き出し、人間の生き生きとした面を...



四六判
文豪たちの嘘つき本
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0653-0
 税込1430円

嘘から迫る文豪たちの素顔
先生！嘘は小説だけにしてください！

本アンソロジーのテーマは、文豪たちの「嘘」。題材は、小説ではありません。随筆や手紙、周囲の人々を書き留めた、文豪自身の嘘が題材です。「死んでやる」と言い過ぎて記者にキレられた太宰治。親しい人に嘘のハガキでいたずらをする芥川龍之介。「彼の嘘を聞く春風に吹かれるようだ」と評された歌人・石川啄木など。どこか魅力的で憎めない嘘を通じて、文豪たちの意外な...



四六判
文豪が愛した文豪
 真山知幸 著
 ISBN4-8013-0638-7
 税込1430円

大切な人への熱すぎる思い
あこがれ、友情、愛憎…

「新聞は『崇拜』と表現芥川龍之介に対する太宰治の強烈な愛」「夏目漱石を絶対視だけで旅先に押しかけ借金を頼む内田百閒」「恋も文学も我が道を行く森鷗外と永井荷風の交流と意外な共通点」「酒・喧嘩・宮沢賢治を好きすぎて意気投合中原中也と草野心平」本書はこうした、文豪同士の「愛」にフォーカスした書籍です。「あこがれ」「友情」「愛憎」という三つの切り口に基…



文庫判
文豪たちが書いた「酒」の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0634-9
 税込750円

文豪たちの人間味あふれる
お酒にまつわる珠玉の15編！

私たちの生活と切っても切れない関係にある、お酒。愉しく飲む人、浴びるように飲む人、味にこだわる人。お酒の楽しみ方は千差万別ですが、それは名だたる文豪たちも同じだったようです。酒を求めた『飲んべえ』、たちが練り広げるドタバタ劇が楽しい夢野久作『ビール会社征伐』や、酔った時の奇妙な癖をユーモラスに描いた梅崎春生『百円紙幣』、はたまた酒飲みの美学を端正に…



文庫判
笑う名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0602-8
 税込750円

鋭いブラックジョークからドタバタコメディまで
文豪たちはユーモアも超一流だった！

本書には、11人の名だたる文豪たちによる「笑える話」が13作品収録されています。誰もが知る昔話を皮肉たっぷりに描いた芥川龍之介の『桃太郎』、素直になれない男の『ツンデレ小説』である太宰治の『畜犬談』、都会の恐ろしさをユーモラスに綴った夢野久作の『恐ろしい東京』、独特な語り口が癖になる、シュールでナンセンスな坂口安吾の『風博士』などなど……。馬鹿馬鹿しく…



四六判
虚実の霊
 千国礼祐 著
 ISBN4-8013-0545-8
 税込1430円

元 除霊整体師が紡ぎだす怪異アンソロジー
「怪談奇談お持ちの方、初見料はいりません」

「怪談奇談お持ちの方、初見料はいりません」珍妙な看板を掲げた除霊整体師のもとには、様々な霊障を抱えた患者がひっきりなしにやってくる。毎晩夢の中に現れる男性、住宅街にひっそりと佇む首吊り屋敷、女子大生に忍び寄るバラバラ死体の亡霊……。生命力の象徴である“えねいど”を巧みに操り霊障を取り除いていく整体師だったが、ある患者から「聞くだけで人体に障る」と…



文庫判
大きな文字でもう一度読みたい文豪の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0540-3
 税込730円

懐かしの名作を 大きな文字で！
芥川龍之介「トロッコ」、森鷗外「高瀬舟」、坂口安吾「墮落論」…など8作品を

本書は、小さな文字が見え辛くなってきた方にも読書を楽しんでいただきたいという思いから、文豪たちの名作を、読みやすい、大きな文字で収録しました。本を持つ手が疲れにくいように、判型も文庫版にしました。芥川龍之介の「トロッコ」、有島武郎の「一房の葡萄」など、かつて教科書によく掲載されていた作品から、戦後、日本中に衝撃を与えた坂口安吾の「墮落論」まで、8…



四六判
俺はやる
 輸入道 著
 ISBN4-8013-0472-7
 税込1540円

全てさらけ出した魂の自叙伝！
突発性難聴、生い立ち、×××、ダンジョン……

激熱注意！輸入道の自叙伝。突発性難聴、両親との関係、いじめ、やさぐれた日々、フリースタイル……輸入道の魂全開の1冊！千葉出身のラッパー輸入道。10代からフリースタイルバトルで頭角を現し、様々な大会で優勝。こめかみに血管が浮かび上がらせ、気持ちいバチバチにぶつけるスタイルは、年齢性別を問わず多くのファンからの絶大な支持を集めている。「熱い!」「真っ直ぐ!」



文庫判
美しい日本の名俳句1000
 今井義和 編
 ISBN4-8013-0470-3
 税込713円

この一冊であなただけの日々を豊かに
四季折々の美しさを詠んだ名句集

本書は松尾芭蕉の近世から正岡規以後の近代・現代までの俳人の名句1000句を掲載しています。日本は海に囲まれた島国であり国土の3分の2が森林におおわれた山地という豊かな自然に恵まれています。春夏秋冬の四季がはっきりと分かれており、日本人は昔から四季のあるこの国を愛してそれぞれの季節の楽しみ方や美しさを大切にしてきました。俳人は四季の折々に自然の輝きをと…



文庫判
文豪たちが書いた怪談
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0448-2
 税込730円

背筋が凍る珠玉の短編集
芥川龍之介、太宰治、夢野久作など13作品を収録

大好評の「文豪たちが書いた」シリーズ第6弾です！芥川龍之介、太宰治、谷崎潤一郎、小泉八雲、江戸川乱歩など13作品を収録。…



四六判
文豪たちの口説き本
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0451-2
 税込1320円

SNSで話題沸騰のアンソロジー第二弾！
口説くのに必死なのは文豪たちも同じ

本書は、文豪たちの恋の顛末を、口説き文句を介して紹介する一冊です。愛人を夢中にさせた太宰治、素直になれない中原中也、甘い口説き文句を連発する芥川龍之介、先輩詩人を熱烈に慕った萩原朔太郎、知らずに男を口説く石川啄木、思いを伝えられない梶井基次郎、身も心も捧げようとした谷崎潤一郎……。口説き方は文豪によって千差万別です。誠実な口説き文句を伝えて続けて願…



文庫判
 くりかえし読みたい
 名俳句一〇〇〇
 今井義和 編
 ISBN4-8013-0387-4
 税込713円

あなたにぴったりの句が、ここにあります。

江戸時代～現代の俳人を網羅した名句集

本書は松尾芭蕉以降の近世から現代までの俳人243名の代表句ないし名句1000句を掲載しています。生涯に関わる名句をテーマ別に編集したものであり、歴代の俳人達が人生の哀歓をいかに季語に寄せて十七文字の中に表現してきたかがよく分かります。そこには俳人達の心情が見事に凝縮して表現されており、その真摯な生き様に心が揺さぶられる思いがするでしょう。冒頭から読んでいた…



四六判
 文豪たちの悪口本
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0372-0
 税込1320円

青鯖が空に浮かんだような顔をしやがって

文豪たちは悪口もすごかった

文豪と呼ばれる大作家たちは、悪口を言うとき、どんな言葉を使ったのだろうか。そんな疑問からできたのが、本書『文豪たちの悪口本』です。選んだ悪口は、文豪同士の喧嘩や家族へのあてつけ、世間への愚痴など。随筆、日記、手紙、友人や家族の証言から、文豪たちの人となりが見えるような文章やフレーズを選びました。これらを作家ごとに分類し、計8章にわたって紹介してい…



文庫判
 文豪たちが書いた
 「犬」の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0302-7
 税込693円

1冊まるごと犬づくし!

犬を題材にした傑作短編集

大好評の「文豪たちが書いた」シリーズ第5弾です!夏目漱石、林芙美子、太宰治、宮本百合子、夢野久作、佐藤春夫、久生十蘭、正岡規、芥川龍之介などの16作品を収録。…



文庫判
 文豪たちが書いた
 「猫」の名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0265-5
 税込693円

猫を題材にした傑作短編集

1冊まるごと猫づくし!

大好評の「文豪たちが書いた」シリーズ第4弾です!内田百閒、夏目漱石、小泉八雲、宮沢賢治、萩原朔太郎…など、猫の小説・エッセイを15作品収録。…



文庫判
 文豪たちが書いた 泣ける名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-8013-0012-5
 税込649円

10人の文豪達が綴る哀しくも切ない短編作品ばかり集めました

宮沢賢治、有島武郎、菊池寛、太宰治、新見南吉、横光利一、織田作之助…など

弟を殺した男、死にゆく妻と向き合う夫、疲弊していく家族…10人の文豪達が綴る哀切に満ちた短編作品を中心に収録したアンソロジーです。…



文庫判
 文豪たちが書いた 怖い名作短編集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-88392-966-5
 税込652円

夢野久作、夏目漱石、江戸川乱歩、小川未明、小泉八雲など11人の文豪15作品を収録

文豪たちが描く奇妙で不気味な怖い話

【収録作品】夢野久作…「卵」夏目漱石…「夢十夜」江戸川乱歩…「押絵と旅する男」小泉八雲/田部隆次訳…「屍に乗る男」「破約」小川未明…「赤いろうそくと人魚」「過ぎた春の記憶」久生十蘭…「昆虫図」「骨仏」芥川龍之介…「妙な話」志賀直哉…「剃刀」岡本綺堂…「蟹」火野葦平…「紅血」内田百閒…「件」「冥途」——11人の文豪15作品…



文庫判
 心がほっとする 日本の名詩一〇〇
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-88392-913-9
 税込607円

新しい現代詩アンソロジー

心がほっとする珠玉の詩100篇を収録しました

【収録作品】金子みすゞ…「私と小鳥と鈴と」「土」山村暮鳥…「雲」「わたしはたねをにぎつてみた」宮沢賢治…「林と思想」島崎藤村…「傘(かさ)のうち」田中冬二…「くずの花」「美しき夕暮れ」中原中也…「湖上」「一つのメルヘン」山之口獺…「ひそかな対決」「ミミコ」大関松三郎…「煙うち」「くさむし」草野心平…「富士山」「青い水たんぼ」丸山薫…「まんさく…



文庫判
 金子みすゞ名詩集
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-88392-802-6
 税込628円

「こだまでしょうか」「大漁」「星とたんぼぼ」「私と小鳥と鈴と」などの名詩がいっぱい!

金子みすゞの胸に響く言葉が詰まっています

明治36年、山口県に生まれた童謡詩人金子みすゞ。彼女の残した作品には、小さな動植物に対する深い愛情や悲しみ、そして子供を持つ独特の感性などが、みずみずしい言葉で綴られています。本書では、金子みすゞの名詩を93編収録。ここに響く金子みすゞの詩を味わってください。…



文庫判
 繰り返し読みたい日本の名詩一〇〇
 彩図社文芸部 編
 ISBN4-88392-749-4
 税込649円

この1冊を持って旅に出かけよう

中原中也から萩原朔太郎、高村光太郎、金子みすゞまで

詩には不思議な力があります。一篇の詩を読むだけで、胸に迫る切なさや哀しさが込み上げてきたり、また時には全身が奮い立つような思いに駆られることもあります。優れた詩というものは情緒、感情、風景、記憶などが閉じ込められた宝箱のようなものかもしれません。本書にはそんな日本の名詩を一〇〇篇収録しました。本書によって読者の方々が自分にとっての特別な詩を発見…

